熊本駅コンテナセルフステーション

貨物を積み合わせ同一市場へ
西久大運輸倉庫㈱

㊤10ｔトラックから貨物を取り卸し
㊦コンテナ２個に積み替える。西久大運輸倉庫の社員が手伝う

ＪＲ貨物は、貨物駅へトラック事業者が貨物を持ち込み、ドライバーの手で貨物をコンテナへ積み替える「コンテナセルフステーション」を２０１５年、熊本駅に開設しサービスを開始した。ＪＲ貨物九州支社は西久大運輸倉庫㈱に、トラック事業者を対象にしたコンテナ利用のサービスを提案、運営の協力を要請した。それを受けた西久大運輸倉庫は新規に熊本通運営業所を開設し、コンテナセルフステーションの窓口となった。トラックから鉄道へのモードスイッチに先駆けて取り組んだ、西久大運輸倉庫、ＪＲ貨物九州支社熊本駅、九州南部支店に取材した。これまでの実績は、１年目１２４６個、熊本地震のあった２年目１５７４個、今年度（11月まで）１１４４個と伸びている。昨年から東海支社名古屋㋟、岐阜㋮でも同様のサービスが始まっている。

椿所長

椿浩幸所長は、「コンテナセルフステーションを利用している貨物は当営業所の取扱量の３割を占めます。開設から３年が経過し、コンテナセルフステーションを利用しているトラック事業者は５社となり、コンテナ利用が定着しスポットでさまざまな貨物輸送の依頼があります」と現状を話した。

発送貨物の中心は農産品だ。玉ねぎ・にんじん・メロン・すいか・柑橘類など出荷の繁忙期に利用される。その他清涼飲料水などがコンテナセルフステーションに持ち込まれ、全国の消費地へ輸送されている。

「複数の生産者を回って同じ市場向けの農産品を集荷し、コンテナに混載して輸送する」、「にんじんと玉ねぎ等多種類を積み合わせて同じ市場に送る」など、トラック事業者は小口貨物の輸送にコンテナを利用しており、「同方面行きの貨物をまとめて（５㌧まで）発送できるため、コスト削減ができる」「ドライバーの労働時間が短縮した」とコンテナ輸送を評価している。

鉄道コンテナは、積載効率を高めるため同じ荷姿の貨物を満載にして輸送することが多いが、西久大運輸倉庫は、生産者が減り、大口の貨物が減少している現状を踏まえると、小ロット貨物の積み合わせが増えてくると予想している。

「貨物駅への持ち込みの仕組みがもっと周知されると、トラック事業者にとっても生産者にとっても現状が改善されると思います。鉄道と競合してきたトラック事業者を巻き込んで、鉄道利用につなげる仕組みはこれまでありませんでした。これからは、トラックと鉄道が連携することで共存していく時代になるのではないか」と椿所長は今後への期待を述べた。

天草や鹿児島のトラック事業者へ営業

ＪＲ貨物九州南部支店ではコンテナセルフステーションのサービス開始の前年から、天草地区（栗や海産物の産地）や近県など、これまで鉄道利用をしにくかった地区のトラック事業者を対象に、営業を始めた。

貨物駅の上屋の写真を見せながら、「貨物を持ち込んでもらう仕組み」を説明し、「コスト削減」、「ドライバーの労働環境改善」、「環境対策」など、鉄道を利用することで得られる効果を話して回った。初めて鉄道を利用することになった鹿児島の事業者は、２００㌔㍍離れた地区から４時間かけて持ち込む。

原田清茂支店長は「熊本駅は着と発が７対３の割合で発送が少ないため、空コンテナを載せていた枠をあて、スポット輸送にも柔軟に対応しています。熊本から関東には３日目の配達、さらに遠方はリードタイムが長くなることや、天候による遅延もあることを理解してもらい、鉄道輸送を利用していただいています。昨年行われた福岡㋟のコンテナ説明会の後で問い合わせがきたり、トラック事業者からの反響も増えています」と述べた。

上屋の使い方を整備、待機場の設置

コンテナセルフステーションは、貨物駅の施設（上屋）を活用して行う。そこで熊本駅では、上屋（７スパン）の使用状況を調査し、半年前から開設準備を行った。既存の利用運送事業者（５社）に５スパンを利用してもらい、新規参入する西久大運輸倉庫に２スパンを賃貸して、コンテナセルフステーションの専用スペースとした。さらに構内の車両混雑を防ぐため、上屋を利用するトラックの待機場を設けた。

初めて貨物駅を利用するトラック事業者には、構内入場での注意事項や交通ルールなども理解してもらい、熊本駅と西久大運輸倉庫、熊本通運営業所の協力体制で事故の発生を予防している。

トラックの待機場

天候に左右されず、夜間も積み替えできる

空コンテナを準備

フォークリフトを２台配備

物流新時代　～地球の未来へつなぐために～

“地球にやさしい”……温暖化が進む２１世紀の物流に欠かせないキーワードです。
わたしたちは、地球にやさしい鉄道輸送と一体化した駅頭立地倉庫を物流の拠点として、
低コスト・高品質サービスの提供と共に、さまざまな物流ニーズにお応えします。

大井ニッソウセンター（東京貨物ターミナル駅構内）

日本運輸倉庫株式会社
東京都台東区東上野3−1−13第7大銀ビル7F
電　話　(03)5828−9801(代表)
http://www.nisso-tw.co.jp

隅田川支店　TEL(03)3803−8288
大井ニッソウセンター支店　TEL(03)5492−7131
東京食品事業所支店　TEL(03)3800−4871
埼玉支店　TEL(048)285−0160
新座支店　TEL(048)480−2500
仙台宮城野支店　TEL(022)257−1279
名古屋支店　TEL(0587)96−2278
大阪地区　TEL(03)5828−9801